



Cisco CCNAの新カリキュラム

概要

シスコ ネットワーキング アカデミー プログラムでは、このたび、次世代のCisco CCNA®カリキュラムを導入することにいたしました。市場の変化に合わせ、管理者やインストラクタ、受講生の皆様のご意見を踏まえたカリキュラムとなっています。

次世代の新しいカリキュラムには、いずれも「e-Doing」という新たな機能を組み込み、コンピュータの機能を用いて指導を行ったり、考察や実習の機会を提供するほか、インストラクション機能を強化し、最新のグラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) を導入いたしました。また、カリキュラムを複数の言語で提供できるよう、翻訳のしやすさも考慮されています。

世界各地の調査では、IT関連の求人数と求職者数とのギャップが明らかになっています。シスコ ネットワーキング アカデミー プログラムでは、現在または将来求められる幅広いキャリアで活躍するために必要なスキルを受講生の皆様に身につけていただくことにより、ネットワーク経済の技術者を育成しています。

新カリキュラムの説明

スキルレベルの異なる受講生に対して、インストラクタがCCNAのコンセプトを簡単かつ効果的に指導できるよう、2つのカリキュラムを新設いたしました。

- 上級学習者向けのCCNAカリキュラム (CCNA「探究」) では、詳細な理論を学び、難易度の高い実習を行うほか、プロトコルのオペレーションについて学習します。中小企業をはじめ、大企業やサービスプロバイダーなどの環境で活躍することのできる優秀なIT技術者を養成することが狙いです。CCNA「探究」は、専門学校や技術学校、単科大学、総合大学など、高等教育機関の統合カリキュラムまたは継続教育プログラムの一環として組み込むことができるようになっています。また、CCNA「探究」は、高度な問題解決能力や分析力を備え、工学、数学などの理工系を学習したいと考える受講生に適したカリキュラムです。
- 基礎学習者向けのCCNAカリキュラム (CCNA「発見」) では、ネットワークのスキルを実践的に学習します。受講生は、わかりやすい実習を通して、ネットワークの構築に必要な一般的な理論を学びます。CCNA「発見」では、学習した概念を即応用することができるため、受講生のさらなる学習意欲を掻き立てるほか、4つのコースを受講する中で、随時応用力を養うことができるため、受講生はIT技術者として第一歩を踏み出すための基礎を身につけることができます。CCNA「発見」は、中等教育機関をはじめ、専門学校や技術学校、単科大学などの独立したカリキュラムとして、またより幅広



い教育課程の一部として実施することができるようになってきました。また、CCNA「発見」は、パソコンの基本的な使い方を身につけている受講生に適したカリキュラムです。

CCNAとして2つの新しいカリキュラムを新設したのはなぜですか

CCNA「探究」とCCNA「発見」では、いずれもCCNA認定資格試験に合格するための実力を養うことができますが、それぞれアプローチの方法が異なります。タイプの異なる受講生にそれぞれ違った指導法を用いることで、学習内容を確実に理解できるようにサポートすることができます。また、これらのカリキュラムは、学歴や関心が異なる受講生を対象としているため、受講生はそれぞれの目標をより確実に達成することができます。そのため、受講生にとっても、インストラクタにとっても、より満足度の高いカリキュラムとなっており、受講率の向上が期待できます。

CCNA「発見」では、ネットワークを日常生活に直結して捉え、Small Office Home Office (SOHO) など、実際に受講生が遭遇すると考えられるネットワーク環境について学習できるようになっており、カリキュラムの早い段階から応用力を身につけることができます。一方、CCNA「探究」では、技術的な内容を深く掘り下げて学び、工学の概念や専門用語も使用します。

新しいCCNAカリキュラムの利点

CCNA「探究」とCCNA「発見」には、以下のような新しい特長があります。

- 学習内容の正確さや流れを改善し、重複箇所を削除。
- 理論と実践と応用をバランスよく学習。
- 「e-Doing」を実践するためのシミュレーション ツールを強化・導入し、よりよい指導を行ったり、考察や実習の機会を提供。
- ローカライズしやすい設計。
- 広帯域幅・低帯域幅の両方の学習ネットワーク環境に対応。
- 実践的なスキルを身につけることを学習目標に設定。
- リッチメディアの活用を増やし、学習過程全体を通してインタラクティブな学習が可能。

CCNA「探究」カリキュラムの導入を検討すべきなのはどのような機関ですか

通常、高等教育機関で実践されているような、難易度が高く、理論的で総合的な指導法を求めている学生を対象とした教育機関については、CCNA「探究」の導入をご検討ください。CCNA「探究」の特長は、以下のとおりです。

- 高度な問題解決能力や分析力を備え、工学、数学などの理工系受講生に最適。
- 専門学校や技術学校、単科大学、総合大学など、高等教育機関の統合カリキュラムまたは継続教育プログラムの一環として組み込むことが可能。
- 複雑で難易度の高い実践的な実習。
- ネットワーキングの基礎から最先端のアプリケーションやサービスまで、幅広いトピックスを総合的に学習。
- アドバンスド テクノロジーやコンバージド ネットワーク アプリケーションをはじめ、ネットワークがそれらのアプリケーションに提供する各種サービスなどの初歩を学ぶことにより、ネットワーキングの戦略的な手法を体得。
- コースの順序や提供方法を柔軟に変更できるよう、トピックスを構成。
- 後に他の工学概念とも結びつけて考えることが可能な、高度な概念や関連づけ、技術言語を構築。

CCNA「発見」カリキュラムの導入を検討すべきなのはどのような機関ですか

CCNA「発見」カリキュラムは、本来、キャリアを重視したITスキルを身につけたいと考える学生や、就職およびキャリアアップへの近道を求めている学生を対象とした教育機関に適したカリキュラムです。CCNA「発見」カリキュラムには、以下のような特長があります。

- パソコンの基本的な使い方を身につけている受講生に最適。
- 中等教育機関をはじめ、専門学校や技術学校、単科大学などの独立したカリキュラムとして、またより幅広い教育課程の一部として実施することが可能。
- 実践を重視し、ネットワーキングについて実践的でキャリアを重視した学習方法を提案。
- ネットワークを日常生活に直結して捉え、実際に受講生が遭遇すると考えられるネットワーク環境をベースに、ネットワーキングの重要な概念を網羅。Small Office Home Office (SOHO) 環境のネットワーキングをはじめ、カリキュラムの後半では、より複雑な大企業環境や理論的なネットワーキング モデルについても学習。
- ネットワーキングの実践に力を入れた学習活動。
- 4つのコースを受講する中で、随時応用力を養うことができるため、ITを実生活に関連づけ、受講生のさらなる学習意欲を掻き立てるほか、IT技術者として第一歩を踏み出すための基礎を身につけることが可能。



開講時期

CCNA「探究」のコース1および2、CCNA「発見」のコース1および2の英語版は、2007年6月～8月に開講の予定です。CCNA「探究」のコース3および4、CCNA「発見」のコース3および4の英語版は、2007年11月～12月の開講を予定しております。現行のCCNAカリキュラムにつきましては、お客様のニーズや認定資格の要件なども考慮し、当面の間継続する予定です。

また、シスコでは、新しいCCNAカリキュラムの他言語への翻訳にも取り組んでいます。シスコが行う翻訳の詳細につきましては、2007年6月～8月に発表の予定です。

シスコ ネットワーキング アカデミー プログラムが選ばれる理由は何ですか

インターネット向けネットワーク機器ベンダーの世界最大手として、シスコは、次世代のIT技術者を養成するのに十分な資格を備えています。また、教育を提供することは、社会への還元という、シスコの企業文化の一環でもあります。ネットワーク アカデミー プログラムでは、直接の対面指導とオンラインのカリキュラムを組み合わせ、実践的な実習や現実に即したネットワーク シミュレーションを行い、インターネットベースの評価ツールを使用して、業界標準としてのコンテンツを提供します。

革新的なネットワーク技術や通信技術のノウハウを駆使してIT教育を行うことにより、国際社会、特に十分なサービスを受けることのできない地域の発展をサポートします。シスコは、世界各地で教育の場や専門職に就く機会を育むため、ネットワーク アカデミー プログラムを開発いたしました。1997年の創設以来、160カ国以上の国で、約200万人の受講生が10,000校以上のアカデミーに入学し、インストラクタや受講生のグローバル コミュニティを築いています。

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc. All rights reserved. CCNA、Cisco、Cisco Systems、Cisco SystemsのロゴおよびNetworking Academyは、米国およびその他の国におけるCisco Systems Inc.および関連会社の登録商標または商標です。

C45-379772-00 11/06